

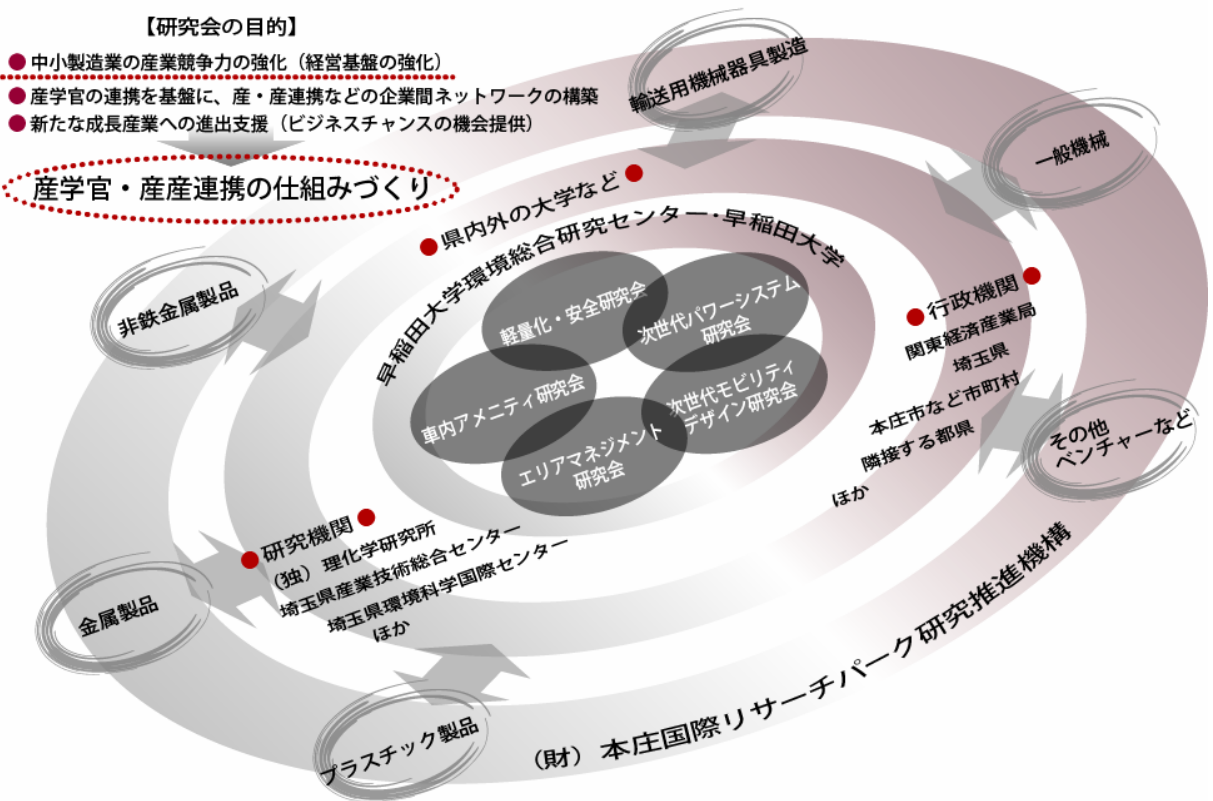
# 『次世代モビリティ・エリアマネジメント研究会とは？』

《新たな環境ビジネス創出と低炭素モデル都市の構築を目指して～》

## 【研究会の目的】

- 中小製造業の産業競争力の強化（経営基盤の強化）
- 産学官の連携を基盤に、産・産連携などの企業間ネットワークの構築
- 新たな成長産業への進出支援（ビジネスチャンスの機会提供）

## 産学官・産産連携の仕組みづくり



# 『次世代モビリティ・エリアマネジメント研究会の活動』

- |   |                                  |   |  |   |
|---|----------------------------------|---|--|---|
| 1) シンポジウムの開催<br>・ 連携構築のきっかけ作り<br>・ 成果の広報、発表の場 | 2) 研究会の活動<br>・ 本会の組織、5つの研究会による活動 | 3) 連携による<br>研究活動推進<br>・ 本会に参加する産学官、産産の連携による研究 | 4) 優先的研究・技術支援<br>・ 本会に参加する個別企業に対して優先的に実施 | 5) 競争的資金の確保<br>および獲得援助<br>・ 研究会活動をはじめとする本会を通じた連携活動で競争的資金を獲得 |
|---|----------------------------------|---|--|---|

**次世代モビリティ・エリアマネジメント研究会**

シンポジウム・フォーラムの開催

- 最先端技術情報提供と課題の共有化

ex. 燃料電池・電動車両      ex. 次世代モビリティデザイン

---

5つの研究会（開催形態は、単独開催と複数研究会の合同開催）

- 軽量化・安全研究会**  
CO2低減を目指した軽量化と安全性・安定性確保の模索（繊維・金属・非鉄金属他関連企業）
- 次世代パワーシステム研究会**  
従来のエンジンや燃料に代わる新たな動力システムの評価と実用化（電子制御・建設機械他関連企業）
- 車内アメニティ・環境研究会**  
社内環境を快適に保つために使用される電力の省エネと快適性を両立（冷凍空調・電子制御他関連企業）
- 次世代モビリティデザイン研究会**  
次世代モビリティ車両をカーシェアリングや高齢者用として利用、地域企業と連携して製造し、地域で活用する「地産地活」を実践（自動車整備・各種部品・金属加工・福祉他関連企業）
- エリアマネジメント研究会**  
乗り物を社会システムの一部ととらえ、使用環境を考慮したユニバーサルデザインや安心安全な街づくりを推進（デザイン・ソフトウェア・環境ベンチャー・地域NPO・行政他関連企業）

（財）本庄早稲田国際リサーチパーク研究機構が支援する。

1) 研究果の地域社会への還元   2) 地域の研究開発ネットワークの構築   3) 競争的資金の獲得   4) 主催する研究会による人材育成

# 『次世代モビリティ・エリアマネジメント研究会に参加するメリット』

次世代モビリティ・エリアマネジメント研究会

早稲田大学のリソースを最大限に活用する。連携による研究活動を推進する。

● 産学官・産産連携の推進と仕組みづくり → “産学官連携拠点の形成”

研究会に参加することによるメリット

**中小企業のみなさまにとって…**

- 1) 共同研究による技術移転、普及促進
- 2) 新技術の開発と導入
- 3) 人材育成（将来をを担う人材の育成）
- 4) 技術確信の担い手としての社会貢献 など

**大手企業のみなさまにとって…**

- 1) 技術連携できる中小企業の発見
- 2) 技術力のある中小企業の活用
- 3) 特定分野に特化した技術力の高い中小企業の活用
- 4) 地域産業クラスター形成への社会貢献 など

**行政（県や市町村）のみなさまにとって…**

- 1) 産と学の橋渡しを推進
- 2) コーディネートなど各種支援事業の効果的推進と成果の獲得 など

**大学や研究機関のみなさまにとって…**

- 1) 自動車産業の活性化に結びつく教員・研究員のシーズを産業界へ広報
- 2) 産業界の課題・企業の課題への共同研究による取組 など

次世代モビリティ・エリアマネジメント研究会の目指す成果

- 産学官連携による → 競争的資金確保
- 産産・異業種連携による → 新事業模索
- 研究会参加による → 技術指導・支援、人材育成
- 共同研究による → 技術移転、新技術開発
- 研究機関・大企業との連携や異業種交流による → 経営基盤強化

## 『早稲田大学教授陣がカバーする専門分野』

